

生命倫理問題研究のための大統領諮問委員会、ゲノミクスとプライバシーに関する報告書を発表 (10月11日)

生命倫理問題研究のための大統領諮問委員会 (Presidential Commission for the Study of Bioethical Issues : PCSB) は10月11日、ゲノミクスとプライバシーに関する報告書「全ゲノム配列決定におけるプライバシーと進歩 (Privacy and Progress in Whole Genome Sequencing)」を発表した。

全ゲノム配列決定がもたらす臨床診療の進歩と公益を実現させるためには、個人のプライバシーの尊重と、その安全性が保証されることは不可欠と結論付けた本報告書では、研究を確実に進展させるための柔軟性と、プライバシー保護への対応を兼ね備えた政策の策定に向けて、PCSBによる提言12項目が挙げられていると共に、倫理問題解決のために米国政府が取るべき措置の概要がまとめられている。

なお、本報告書は、
< <http://www.bioethics.gov/cms/sites/default/files/PrivacyProgress508.pdf>>からダウンロード可能。

Presidential Commission for the Study of Bioethical Issues, President's Bioethics Commission Releases Report on Genomics and Privacy
<http://bioethics.gov/cms/node/765>